

日高 舞

始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部

始良保健所 技術主査

2024年入庁

神奈川県横浜市出身

職歴

2024-始良保健所



01現在の仕事内容



迷い犬や負傷猫の保護・返還・譲渡など狂犬病予防・動物愛護に関わる業務から、食の安全や住民の生活環境の保全に関わる認定小規模食鳥処理施設や化製場の監視など、多岐にわたる業務を担当しています。

02鹿児島県に入庁した理由



県外出身でしたが大学生生活を過ごすうち、自然の豊かさ、食の美味しさ、人の温かさを知り、鹿児島が大好きになりました。また鹿児島県は全国でも有数の畜産県であること、数多くの食肉輸出認定施設があることから、多くの知識や技術を得られ獣医師としてより成長できることを期待して入庁を志望しました。

03現在の業務の魅力



業務中はたくさんの方々とお話する機会があり、また様々な職種の方と一緒に仕事をするので、日々新しい発見があり、視野が広がるとともに対人スキルが非常に上がります。また保護犬・猫と触れ合う機会も多く、自身の癒しになるとともに、その子たちが新しい里親さんに譲渡され幸せになっていく姿を見るときは胸が熱くなります。

04とある1日の過ごし方



問い合わせ対応

資料の作成

出勤

事案・相談対応（電話・現場）

収容犬猫確認
譲渡適性判定

退庁

月報・照会回答等文書作成

昼休憩

08:30

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:15

05 仕事でやりがいを感じることに



保護犬猫を新しい里親さんにお渡しした際、「この子を保護してくれて、出会わせてくれてありがとうございます」と感謝の言葉をいただけたときは、非常に嬉しかったですし、この仕事へのやりがいを感じました。県獣医師は保健所以外にも様々な分野の業務に携わります。自身の専門知識を活かしながら、さらに知識や技術、経験を積んでいけることも、大きなやりがいだと思います。

06 仕事できつかったこと・苦勞したこと



まれにボロボロの状態で保護される犬猫がいます。この子たちがこれまでどんな思いをしてきたのだろうと思うと、非常に憤りを覚えますし、無力感を抱くこともあります。

07 仕事でびっくりしたこと・印象に残っていること



たくさんありますが、やはり一番印象に残っているのは保護犬猫たちとの出会いです。人懐っこい子、怯える子、咬みついてくる子、飼い主に捨てられた子、病気や怪我を負った子、まだミルクが必要な子。どの子も忘れられないです。この子たちのこれからの幸せを願うとともに、自分にできることを精いっぱい頑張りたいと思っています。



08 鹿児島県庁の好きなところ



鹿児島県庁を志望した理由の一つですが、獣医師職員の数の多さです。困ったときは先輩方に助言を仰ぐことができ、その知識量や経験の多さに日頃から刺激をいただいています。

09 仕事終わりや休日の過ごし方



プライベートでは二児の母親として、忙しくも楽しい日々を過ごしています。去年、保護犬をお迎えし、さらに賑やかになりました。仕事と子育ての両立が可能である今の環境は、本当にありがたいと思っています。

